

祝！苗場山麓ジオパーク認定  
昔ながらの「蓑(ミノ)」を着る。日本一の豪雪ならではの雪国体験

## 津南ゆきんこ散歩

「蓑(ミノ)」を着て集落を散歩。冷えた体は、温泉でぽっかぽか。

1月15日～3月15日まで、無料で  
“蓑(ミノ)” や“すげぼうし” を貸し出します。



対象	旅館宿泊者
場所	しなの荘
期間	1月15日～3月15日
貸出料	無料
主催	津南町旅館組合
後援	津南町観光協会
協力	津南町教育委員会



### 津南町ならではのポイント① 日本一の豪雪

豪雪の町として全国的にも有名になった津南町は、たった一晩で雪が1m積もることも珍しくありません。全国ニュースでは大変な面ばかりが強調されますが、住民にとっては大雪は毎年のことでもあり、暮らしの様々な面での備えも充分されています。例えば、家の作りや雪囲い、除雪のやり方、縦型の信号機など豪雪地ならではの知恵を感じることができます。

### 津南町ならではのポイント② 集落の中にある温泉旅館

内閣府の調査によると都市に住む20代の4割近くが田舎定住願望をもっているそうです。また訪日外国人の間では、のどかな田舎が見たい、体験したいと思う人が増えてきています。

津南ゆきんこ散歩は、集落の中に温泉旅館があるという特徴をいかして、昔ながらの雪国人になりきって集落を散歩できる企画です。集落を歩くと、雪囲いや除雪の風景など、雪国ならではの暮らしぶりを身近に感じただけのことでしょう。ツアーではないので事前申込は不要で、気軽に体験できるのも魅力です。

### 津南町ならではのポイント③ 苗場山麓ジオパーク <http://naeba-geo.jp.org>

昨年12月に「苗場山麓ジオパーク」が認定されました。大地(ジオ)と動植物・雪(エコ)を基盤に、世界に類を見ない「縄文文化・雪国文化(カルチャー)」を形成しているのが、津南町です。その雪国文化の一端を、津南ゆきんこ散歩でぜひ体験ください。

津南ゆきんこ散歩に関するお問合せ：津南町観光協会  
TEL:025-765-5585 FAX:025-765-5586 メール: [kanko@tsunan.info](mailto:kanko@tsunan.info)  
又は、しなの荘 TEL:025-765-2442 FAX:025-765-1082 まで

(資料)

“雪みの”や“すげぼうし”は、津南町で古くから使われていた本物です。

“蓑(ミノ)”や“すげぼうし”は、津南町教育委員会が大切に保管してきたものを特別にお借りしています。昔から当地に伝わってきた素材や製法で作られた本物です。



出典：津南百年史

“蓑(ミノ)”の材料は、全国的にはワラが一般的だが、津南町ではヒロロという植物が使われてきた。ヒロロは、ワラよりも軽く、雪が付きにくい特徴があると考えられている。

“すげぼうし”は、タヌキランと呼ばれる植物を編んで作られた帽子。帽子といっても全身を覆うようにかぶった。現在でも、小正月行事の鳥追いで子どもたちが身につけて歩く姿がみられる。

## 信濃川河畔の集落の中にある 小さな隠れ宿。

全12部屋の小さな隠れ宿。全館畳敷きの、落ち着いた館内はどこか懐かしくホッとします。お部屋は露天風呂付客室やコンドミニウムなど多彩。

### 越後田中温泉しなの荘

新潟県中魚沼郡津南町上郷上田乙2163  
TEL:025-765-2442 FAX:025-765-1082  
<http://www.tsunan-kanko.co.jp>



津南ゆきんこ散歩に関するお問合せ：津南町観光協会  
TEL:025-765-5585 FAX:025-765-5586 メール：[kanko@tsunan.info](mailto:kanko@tsunan.info)  
又は、しなの荘 TEL:025-765-2442 FAX:025-765-1082 まで